

1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ> 問題内容を日常生活と関連させ、課題解決への意欲を高める取組

(白石市立白石第一小学校)

1 実施単元

『3つのかずのけいさん』 [東京書籍 1年上巻 p83～86]


2 単元のねらい

3つの数の加減計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それらを用いることができるようにする。

3 指導改善の手立て

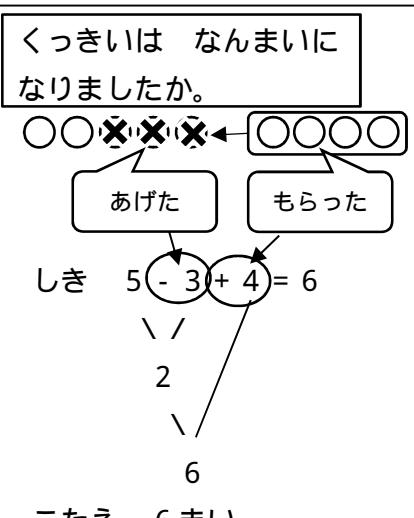
問題の内容は、「クッキーをあげる・もらう」という児童にとって身近な内容にすることで、日常生活と関連させて考えられるようにした。問題場面はクッキーの模型と袋を用いて提示し、袋の中身が見えないようにすることで、答えが分からないようにし、課題解決に対する意欲を高めた。前時までに3つの数の加法のみの式と減法のみの式を学習し、本時で初めて加法と減法が合わさる式となるため、単元を通して同じ題材を扱うことで、安心して課題に取り組めるようにしたい。

どのように けいさん
するのでしょうか。



くっきいが5まい
↓
3まいあげた
↓
4まいもらった

くっきいは なんまいに
なりましたか。



あげた もらった

しき $5 - 3 + 4 = 6$

こたえ 6まい

ひきざんと たしざんが
まざっていても はじめの
2つから けいさんする。

(適用問題)

4 指導の実際



クッキーを題材にしたことや、教師が操作しながら問題場面を捉えさせたことで、児童の問題に対する興味・関心を引き出すことができた。また、答えとなる部分が見えないよう教材を工夫したことで、「枚だと思うけど、本当は何枚だろう。」と、問題を解くことへの意欲を高めることができた。(左写真はクッキーの模型と袋を使って問題場面を提示している様子)